

# 第7回BIJファミリーコンサート

## 「東日本大震災で被災した子供たちを支援するコンサート」

出演 指揮:井上喜惟 / ジャパン・シンフォニア / 司会:永井美奈子

### プロフィール



#### ジャパン・シンフォニア

創設以来、年々進化を続けるジャパン・シンフォニア。主軸の多くが独逸圏で学んだメンバーで構成される、日本では極めて稀なオーケストラである。「ジャパン・シンフォニア」は音楽監督、井上喜惟の「国内のみならず、日本から海外に向け本格的な音楽を発信するオーケストラを作ろう。」という提唱のもと、2003年秋に発足した。

その主軸メンバーには、音楽監督、井上喜惟同様に長い年月欧州での研鑽、演奏活動を持ち、現在も国内外で活躍する日本のトップ・プレーヤーたちが集結した。メンバーの多くは、海外から帰国した、欧州での留学・演奏経験者である。充分な準備による音楽的な方向性の相互理解を通じ、「オーケストラは巨大な室内楽」であるという、本来の原点に立ち返ることをポリシーとして掲げている。その意味でも非常に稀有な存在として、多くの音楽関係者から絶賛されている。年2回の定期演奏会の他、毎夏に行うBIJファミリーコンサート、またテレビでもBSフジのモーツァルト生誕250年記念コンサートに出演する他、「交渉人真下正義」や「Flowers」など映画制作にも協力するなど幅広い活動を行っている。定期公演ではモーツァルトからウェーベルンまで幅広い作品を取り上げているがCDとして発売されたベートーヴェン交響曲第3番「英雄」、ブラームス交響曲第1番、マーラー交響曲第4番は産経新聞、レコード芸術、音楽現代各誌で推薦盤として注目された。



#### 井上 喜惟(ジャパン・シンフォニア音楽監督)

中学卒業後渡欧。ヴェス、チェリビダッケ、ベルティエリ、シュタイン、バンスタインに師事。カラブチェフスキー、小澤征爾のアシスタントも務めた。1992年、チェコ国立ブルノ・フィルハーモニー管弦楽団定期演奏会で正式デビュー。以後、チェコ、ポーランド、旧ソ連等を中心に活躍、チェコ・ナショナル交響楽団、ワルシャワ・フィルハーモニー管弦楽団、他を指揮、多数のCDをレコーディング。ウィーンで指揮者のロリス・チェクナボリアンと知り合いになったことがきっかけとなり、1993年、アルメニア・フィルハーモニー管弦楽団を指揮、朝日、日経新聞紙上で大きな話題となった。以来2000年まで客演指揮者を務めることとなった。

2000年4月、井上の尽力により同オケは日本政府の無償資金協力を得て楽器等を一新、同年9月にはそれらの楽器の披露も兼ねて、井上自身のプロデュース、国際交流基金の助成によりアルメニアの首都、エレヴァンで「日本音楽週間」が実現した。この模様は朝日新聞紙上で大きく取り上げられた。2001年から2003年までアルメニア国立放送交響楽団音楽監督・首席指揮者。現在、ジャパン・シンフォニア音楽監督およびウィーン国際マーラー協会からの承認を得て活動中のアマチュア・オーケストラ、ジャパン・グスタフ・マーラー・オーケストラでも設立段階から音楽監督を務めている。2011年秋からモンゴル国立音楽舞踏大学客員教授に就任。



#### 植村 理葉(ヴァイオリン)

桐朋女子高等学校音楽科を卒業後、文化庁芸術家在外研修員(3年派遣)としてケルン音楽大学で研修、最優秀成績で卒業。

全日本学生音楽コンクールヴァイオリン部門小学生の部全国1位。

新日鉄音楽賞・フレッシュ・アーティスト賞受賞。

ミケランジェロ・アバド国際音楽コンクール優勝、L.モーツァルト国際コンクール最高位およびモーツァルト特別賞受賞。

東京フィルハーモニー交響楽団、群馬交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団他、ハレ・フィルハーモニー管弦楽団、サントペルブルク・カメラータなど、ヨーロッパでソリストとして80回以上オーケストラと協演。ドイツ・シュエマンのヴァイオリン協奏曲、カメラータ・トウキョウから「フランス・ヴァイオリン作品集」をリリース。



#### 永井 美奈子(司会)

オフィシャルホームページhttp://www.nagaiminako.com

日本テレビアナウンサーを経てフリーに。『マジカル頭脳パワー』『24時間テレビ』『ザ・サンデー』他、多数の番組を担当。退社後は、政界、財界、スポーツ選手、芸能人100人に取材をするなど、インタビューとしても活躍。

現在、妻、二児の母(9歳、4歳)、フリーアナウンサー、研究者、と四足の草鞋を履きこなすべく奮闘中。

主な活動として、クラシックコンサートやイベントの司会、ラジオ、講演会、エッセイの執筆のほか、小学校においての「朗読」講師のボランティアや、子を持つ

親の立場でのプロデュースなど、活躍の場を広げている。慶応義塾大学研究員。成城大学非常勤講師。ワインエキスパートの資格を持ち、趣味はワインと観劇。

### 第7回BIJファミリーコンサートによせて(ジャパン・シンフォニア音楽監督:井上喜惟)

昨年3月の震災からすでに1年半の月日が過ぎました。しかしながら、まだまだ被災地の復興には時間がかかり、また多くの被災した皆さんが厳しい生活を強いられています。特に、被災した子供たちの環境は大変厳しく、多くの学校の校庭は仮設住宅になってしまい、子供たちが自由に遊ぶ場所も確保されていない現状です。私たちは、未来を背負っていく子供たちのための支援は続けていかなければと思います。本日のコンサートも会場ロビーにて募金活動を行います。多くの皆様のご協力、お願い申し上げます。

### メッセージ(主催者:ベーリンガーインゲルハイム ジャパン株式会社)

大震災から1年以上が経過し、被災地の方々は復興に向かって懸命な努力を続けていらっしゃいます。しかし復興までにはまだ多くの時間と多くの人々の協力が必要です。我われも、様々な形で少しでも被災地の方々のお役に立てればと考えております。7回目を迎えますBIJ FAMILY CONCERTは、今年も大震災で被災されたお子様を支援するためのコンサートといたしました。ベーリンガーインゲルハイムは、病気の研究や革新的な医薬品、治療法の開発を通じて人々に奉仕することを使命としています。また100年以上にわたって「思いやり」の企業文化を醸成し、「人々のより良い健康のために」をモットーに、企業の社会的責任や献身的に社会へ関与する風土を目指しています。このコンサートを通じ子供たちの笑顔や心の健康に貢献できれば幸いです。本日はお子様方と一緒に音楽をお楽しみください。